

TOPICS

令和四年 京都市自治記念式典で表彰

～未来の京都まちづくり推進に尽力～
6名の商店街理事長及び商店連盟名誉会長が表彰







「京都市自治記念式典」が、2022年10月15日（土）、ロームシアター京都にて開催され、同式典において京都市政の推進に尽力した企業や個人に贈られる、「未来の京都まちづくり推進」部門で、6名の商店街理事長及び商店連盟名誉会長が、門川大作京都市長より表彰されました。

この式典は、京都市民自らの手による、市長の選任と市役所の開庁により、1898(明治31)年10月15日に、真の自治権を獲得したことを記念して開催され、毎年同日に市政の推進に多大な貢献

をした個人及び団体に対して、表彰状が贈呈される式典です。

今回の「京都まちづくり推進」部門の選出に至った経緯は、「はばたけ未来へ！京プラン2025（京都市基本計画）」に掲げる、「うるおい」、「活性化」、「すこやか」、「まちづくり」の分野において、「魅力あふれる未来の京都の実現」に向け、京都市政の推進に尽力された功績により、表彰されました。御受賞されました皆様、誠におめでとうございます。

【未来の京都まちづくり推進部門】
(五十音順)

-  **宇津 克美 氏**
京都商店連盟
-  **岡本 喜雅 氏**
新京極商店街振興組合
-  **田中 正人 氏**
京都三条会商店街振興組合
-  **野村 清孝 氏**
四条繁栄会商店街振興組合
-  **馬場 保夫 氏**
今熊野商店街振興組合
-  **森 一起 氏**
亀馬通り商店街振興組合

INFORMATION

01 豪華な景品が当たる！ ガラポン抽選会を開催

 三条名店街商店街

三条名店街商店街にて2022年12月1日（木）～2022年12月25日（日）の期間中、500円以上のお買い物をした方が対象のガラポン抽選会が開催されます。

〈開催日〉2022年12月24日（土）・25日（日）

〈開催場所〉三条名店街商店街デジタルサイネージ前

〈対象レシート〉期間：2022年12月1日（木）～2022年12月25日（日）

金額：500円以上のご購入レシート

02 5,000円で6,500円分（プレミアム率30%） プレミアム付き商品券を販売

 寺町京極商店街

寺町京極商店街で使えるプレミアム率30%、6,500円相当のプレミアム商品券が5,000円で販売されます。

プレミアム商品券有効期間

2022年12月10日（土）～2023年1月9日（月）

〈販売日時〉2022年12月10日（土）

①12:00～14:00 ②15:00～17:00

〈販売場所〉寺町京極商店街アーケード内

\\ 掲載情報を
募集しています //

京都の商店街に関するニュースやイベントなどの情報を随時募集します。「取り組みを知ってみたい」「イベントを知らせたい」など、ぜひお聞かせください！要項を記載してメールにてお送りください。（要項）メールアドレス「京都商店街新聞掲載情報」/主催者名/イベント紹介文（300字程度）

URLなど。その他、チラシのデータ添付など必要情報をご記載ください。（掲載枠には限りがありご希望に添えない場合がございます。ご了承ください。）掲載情報お問い合わせ先 ■ 京阪企画社 E-mail / keihankikakusha.kyoto@gmail.com



京阪企画社 E-mail のQRコードはこちら

記事からの気づき

記事から得られる情報や気づきを組合運営に生かすことができればと思う。今回のテーマは『観光』。元々、観光地ではなかった商店街に国内外より多くの観光客が訪れるようになる。とくに海外から来る観光客の中には地元の暮らしや食生活に興味をもち、それらを見聞きし、体験できる場である商店街を訪れるようになる。そのような観光客をターゲットに、昔から土産物や食品を提供していたような店でも、手軽に食べ歩きのできるような商品を販売するようになる。さらに、全国各地の有名観光地でチェーン展開しているような資本金のある会社が、出店し

て、観光客目当ての土産物や飲食物を販売、提供できるようになる。昔から商売をしていた店の中には、観光地化を歓迎していないところも多い。むしろ、観光地化することで、地元の顧客の足が遠のいてしまったと嘆く店主もいる。観光地ではなかった商店街が観光地として紹介されるようになり、観光客目当ての商品やサービスを提供する店が増える中、商店街として、まずやるべきことは、そこで商売をする店主が将来実現したいビジョンを共有することではないだろうか。（京都商店街新聞アドバイザー・京都錦市場商店街振興組合事務長 清水彰）

商店街をもっと見る。もっと知る。

京都商店街新聞 11

NOVEMBER
2022
創刊号

KYOTO SHOPPING DISTRICT PRESS

発行 | 京都府商店街振興組合連合会 〒600-8009 京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町78(京都経済センター3階) TEL (075)-342-0301 FAX (075)-342-0302 URL https://syouren.or.jp

CONTENTS

上田理事長インタビュー：商店街には「夢」がある～創刊によせて～ | 「常に新しい」新京極商店街 | 食材全てをより美味しく、魅力的に！ ツーリストシップで旅行者交流 | TOPICS：令和四年京都市自治記念式典で表彰 | INFORMATION | 記事からの気づき and more...



商店街には「夢」がある ～創刊によせて～

京都府商店街振興組合連合会
理事長 上田 照雄

その言葉の一つひとつが、未来を向いていた。憂いや怒りの中に灯る大きな希望、人はそれを「夢」と表現する。夢は生きる原動力だが、簡単に持てるものではない。商店街の未来を真剣に考え抜くからこそ、夢という名の青写真は具体性を帯びていく。

創刊にあたり、上田理事長に取材をお願いした。激動の時代をどう生き抜くか。商店街の繁栄がいかにか、街づくりや人づくりの縁となるかを熱く語る理事長の言葉は、まさに考え抜かれた一途な夢を連想させる。

平成十二年に施行された『大規模小売店舗立地法』によって、大型店舗やチェーン店参入の規制が緩和され、動線が巨大施設に流れた。打開策を見いだせず泣き寝入りする商店街も多数あった。「地域で街を興す、それがやがて人をつなぐ。」理事長には確信があった。「商店街を残すことが目的ではない。商店街を通じて、人のつながりを創ることが大事」だと。どうやら利便性に流れ続ける私たちは、この混沌とした時代に、何か大切なものを忘れてしまったのかもしれない。

「地域に密着した商業の振興を図りながら、まちづくりを進めることが、コミュニティ発展のためには必要です。顔と顔を向き合わせて買い物ができる日常の幸せを失いたくないから。」理事長の言葉に熱が入る。街の未来は、人の想いは、商店街で創るんだという本気の決意だ。

「市民や事業者、行政が一体となって商店街を盛り立てる。やがて人が集まる商店街を京都から創り出す。それが夢です。」夢の実現は得てして、一人の勇者の、そのたった一言から始まるということを知る。商店街の夢が、動き出した。

広告サンプル

お買い物は商店街へ！

商店街のにぎわいを通じて
地域社会のきずなが深まることを
目指しています



京都商店連盟
京都府商店街振興組合連合会

〒600-8009 京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町78番地 京都経済センター3階
TEL (075)-342-0301 FAX (075)-342-0302

広告サンプル

お買い物は商店街へ！

商店街のにぎわいを通じて
地域社会のきずなが深まることを
目指しています



京都商店連盟
京都府商店街振興組合連合会

〒600-8009 京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町78番地 京都経済センター3階
TEL (075)-342-0301 FAX (075)-342-0302

広告掲載募集中

京都商店街新聞の紙面に掲載する広告主様を募集しています。
広告詳細につきましては、お問い合わせください。

広告掲載募集中

京都商店街新聞の紙面に掲載する広告主様を募集しています。
広告詳細につきましては、お問い合わせください。